

令和4年第1回高浜市議会臨時会会議録（第1号）

令和4年第1回高浜市議会臨時会は、令和4年1月18日
午前10時高浜市議場に招集された。

議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案第1号 令和3年度高浜市一般会計補正予算（第10回）

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

出席議員

1番	荒川 義孝	2番	神谷 直子
3番	杉浦 康憲	4番	杉浦 浩一
5番	岡田 公作	6番	柴田 耕一
7番	長谷川 広昌	8番	黒川 美克
9番	柳沢 英希	10番	杉浦 辰夫
11番	北川 広人	12番	鈴木 勝彦
13番	今原 ゆかり	14番	小嶋 克文
15番	内藤 とし子	16番	倉田 利奈

欠席議員

なし

説明のため出席した者

市 長	吉岡 初浩
副 市 長	神谷 坂敏
教 育 長	岡本 竜生
企 画 部 長	深谷 直弘
ICT推進グループリーダー	山下 浩二
総 務 部 長	杉浦 崇臣
行政グループリーダー	板倉 宏幸
財務グループリーダー	清水 健
市 民 部 長	磯村 和志
市民窓口グループリーダー	中川 幸紀

福祉部長	加藤一志
地域福祉グループリーダー	加藤直
介護障がいグループリーダー	野口恒夫
福祉まるごと相談グループリーダー	野口真樹
健康推進グループリーダー	内藤克己
こども未来部長	木村忠好
都市政策部長	杉浦義人

職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	竹内正夫
副主幹	神谷直子
主査	杉浦幸宏

議事の経過

○議長（柳沢英希） 皆さん、おはようございます。

令和4年第1回高浜市議会臨時会の開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本日は、公私ともに御多用のところ、皆様方の御出席を賜り誠にありがとうございました。

本臨時会に提案されました案件につきましては、厳正かつ公平なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。開会の御挨拶とさせていただきます。

午前10時00分開会

○議長（柳沢英希） ただいまの出席議員は全員であります。よって、令和4年第1回高浜市議会臨時会は成立いたしましたので、開会をいたします。

ここで、市長より招集挨拶があります。

市長。

〔市長 吉岡初浩 登壇〕

○市長（吉岡初浩） 皆さん、おはようございます。

令和4年第1回高浜市議会臨時会の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日、臨時会の招集をさせていただきましたところ、議員各位には大変お忙しい中を全員の方に御参集をいただきまして誠にありがとうございました。日頃より市政各般にわたりまして格別の御尽力をいただいておりますことを厚く御礼を申し上げます。

さて、今年に入り、オミクロン株の感染が急激に拡大をいたしております。日々、状況も変わっておるところでございます。

愛知県では、感染拡大対策の観点から、新たに65歳以上の一般高齢者に係る3回目のワクチン

接種時期を2回目接種完了から6か月経過後に前倒しをして、3回目の接種を進めていくこととなっております。当市におきましても、この方針に基づきまして、今年13日に昨年7月15日までに2回目接種を完了した65歳以上の方に、3回目の接種券を発送したところでございます。その後の基礎疾患を有する方、また一般高齢者以外の方々にも、県のほうから前倒しに向けての通知が出されておるところでございます。

今後とも接種可能日が近づいた方から順次接種券を発送し、円滑なワクチン接種に努めてまいります。

続きまして、本日の案件でございますが、住民税非課税世帯等臨時特別給付金の支給などに係る補正予算1件をお願いするものでございます。詳細につきましては、総務部長より説明をさせていただきますので、慎重に御審議の上、御可決を賜りますようお願いを申し上げまして、招集の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

〔市長 吉岡初浩 降壇〕

午前10時03分開議

○議長（柳沢英希） これより会議を開きます。

お諮りいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 御異議なしと認めます。よって、本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定いたしました。

これより本日の日程に入ります。

○議長（柳沢英希） 日程第1 会議録署名議員の指名を議題といたします。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第79条の規定により、議長から御指名申し上げて御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 御異議なしと認めます。よって、16番、倉田利奈議員、1番、荒川義孝議員を指名いたします。

○議長（柳沢英希） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

本臨時会の会期につきましては、あらかじめ議会運営委員会で協議されておりますので、その結果の報告を求めます。

議会運営委員会委員長、杉浦辰夫議員。

〔議会運営委員長 杉浦辰夫 登壇〕

○議会運営委員長（杉浦辰夫） 皆さん、おはようございます。

御指名をいただきましたので、議会運営委員会の報告を申し上げます。

本日招集されました令和4年第1回高浜市議会臨時会の運営につきましては、去る1月11日に委員全員出席の下、議会運営委員会を開催いたしました。

当局より提示されました案件について検討いたしました結果、会期は本日1日間とし、議案の取扱いにつきましては、議案上程、説明、質疑、討論、採決の順序で行い、委員会付託を省略して全体審議で願うことに決定いたしました。

本臨時会が円滑に進行できますよう格段の御協力をお願い申し上げまして、報告といたします。

〔議会運営委員長 杉浦辰夫 降壇〕

○議長（柳沢英希） ただいま議会運営委員会委員長の報告がありました。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、議会運営委員会委員長の報告のとおり、本日1日間といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柳沢英希） 御異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は本日1日間と決定いたしました。

○議長（柳沢英希） 日程第3 議案第1号 令和3年度高浜市一般会計補正予算（第10回）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（杉浦崇臣） それでは、議案第1号 令和3年度一般会計補正予算（第10回）につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

補正予算書の5ページをお願いいたします。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ4億4,688万6,000円を追加し、補正後の予算総額を179億1,789万8,000円といたすものであります。

8ページの繰越明許費をお願いいたします。

繰越明許費は、今回の補正予算で事業費を計上いたしております住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業について、令和4年度に繰越しを行うものであります。

18ページをお願いいたします。

歳入について申し上げます。

14款2項2目民生費国庫補助金の住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事務費補助金及び同

事業費補助金は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響を受けている住民税非課税世帯及び家計急変世帯の支援対策として実施する住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業に対し、全額補助されるものであります。

18款1項1目基金繰入金の財政調整基金繰入金は、今回の補正予算の財源調整として増額いたすものであります。

20ページをお願いいたします。

歳出について申し上げます。

2款1項12目企画費のICT推進事業は、本庁舎といきいき広場の連携強化及び窓口の混雑解消のために、PCモニター等の購入費及び窓口申請書作成支援システム導入業務委託料を計上いたすものであります。

3款1項23目住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業費は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対し、現金10万円を給付する住民税非課税世帯等臨時特別給付金を支給いたすものであります。

主な内容は、委託料としてシステム導入業務委託料900万円、事業支援業務委託料758万9,000円のほか、交付金として住民税非課税世帯等臨時特別給付金4億2,000万円を計上いたしております。

説明は以上のとおりでございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○議長（柳沢英希） これより質疑に入ります。

4番、杉浦浩一議員。

○4番（杉浦浩一） 主要新規事業の概要ナンバー2についてですが、住民税非課税世帯の受給までの手続について、まず教えてください。

次に、対象世帯②の家計急変世帯で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、住民税非課税世帯と同様の事情にある世帯とありますが、具体的にはどのような世帯なのか。また、家計急変世帯への周知方法について教えていただきたいと思ひます。

○議長（柳沢英希） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（加藤 直） 住民税非課税世帯の手続につきましては、簡素な手続で支給できるよう、申請書不要のプッシュ型により支給を行っていくこととしております。

制度のお知らせチラシ及び振込口座を確認する支給要件確認書を対象者へ郵送し、返送された確認書を基に指定口座に振り込んでいきます。

次に、家計急変世帯の住民税非課税世帯と同様な事情にある世帯とはどういう世帯かといひますと、令和3年度分の市町村民税が課税されていた方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少し、減少した月の収入に12を乗じて得た額が市町村民税均等割で非課税水準以下となる収入の世帯であります。

それから、家計急変世帯への周知ですけれども、広報や市公式ホームページに掲載するほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した方へ支給しております生活困窮者自立支援金や住居確保給付金の受給歴のある方や愛知県の社会福祉協議会が行っております特例貸付制度を利用された方へ制度のお知らせをし、周知を図ってまいりたいと考えております。

○議長（柳沢英希） ほかに。

1 番、荒川義孝議員。

○1 番（荒川義孝） それでは、補正予算書21ページ及び主要新規事業等の3、4ページをお願いいたします。

窓口申請書作成支援システム導入委託料等について何点かお聞きしていきます。

さきの12月議会で多岐にわたり一般質問で確認させていただきました。来庁舎削減プロジェクトの課題の一つの本庁舎といきいき広場の連携強化として、テレビ電話が各グループの窓口を設置されますが、ワンストップサービスが想定されるその連携について確認をさせていただきます。

本庁舎、いきいき広場それぞれに基幹窓口、いわゆる総合窓口を設けての御対応なのか、あるいはどのグループでも他のグループと連携した対応が可能なのか、教えてください。

また、対応される範囲は相談業務のみなのか、手続といった踏み込んだ内容も考えてみえるのか、教えてください。

○議長（柳沢英希） ICT推進グループ。

○ICT推進G（山下浩二） まず、今回導入させていただきます内容は、そもそも狙いが目指す成果に記入してございますように、本庁といきいき広場の連携強化及び窓口の混雑解消を目的としたものでございます。さきの御質問にもございましたとおり、窓口の解消をそもそもこれだけで行うわけではございませんで、プロジェクトの中で進めてございます電子申請、まずはこれを進めていくということもございます。併せて電子申請ができない環境の方、インターネットの環境がなかったり、マイナンバーカードをお持ちでない方に対しても対策を練りたいというもので、今回こちらのほうの提案をさせていただいてございます。そこで、まず総窓のようなそういった専門の窓口をつくるかということでございますが、電話の設置場所につきましては、当面補正予算でお認めいただいた後に現場との調整を経て、決定することになりますが、市民窓口、税、介護障がい、こども育成、学校経営グループに2台ずつ設置することを想定しています。

なお、システムそのものは通信環境が整っていれば、容易に移動が可能ですので、柔軟な対応ができるよう整備したいと考えておまして、その中で御指摘のような窓口を設置するか否かを検討してまいりたいと考えております。

なお、手続についてでございますが、当面想定しているのは転入、転出、死亡届の手続関係を想定しておりますが、現在複数の窓口で手続が必要な場合、職員が該当する窓口に同行したり、内線電話で連絡を取り合うことは日常的に行っているものでございまして、対応がすぐに大きく

変わるものではございませんが、市民の方が直接移動することなく、担当職員と会話できる環境を整えることで、よりスムーズに手続が進むものと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（柳沢英希） 1番、荒川義孝議員。

○1番（荒川義孝） ありがとうございます。

次に、窓口申請書作成支援システムについてお聞きいたします。

申請手続について、マイナンバーのお話もありましたが、マイナンバーとのひもづけも進めてみえると思いますが、順調とは言い難いところがあり、その関連性についてどのように進めていくのか、お考えを教えてください。

また、対応が可能な申請書は、住基や税務関係の申請書類が基本となると思いますが、それ以外も多岐にわたっているのかといった申請書の作成についてお考えをお願いいたします。

○議長（柳沢英希） ICT推進グループ。

○ICT推進G（山下浩二） まず、1点目のマイナンバーとのすみ分けでございますが、当然私どもとしましてはマイナンバーの普及を目指しているところでございます。その中でどうしてもマイナンバーの取得のほかに、御自宅にインターネットの環境等がない方が当然おみえになりますので、そういった方たちについても、やはりデジタルの恩恵を受けるべきだという考え方の基に今回お願いしているものでございます。

あと、手続関係につきましては、狙いといたしましては主に外国人の方、外国人の方が窓口で文字を書くときにどうしても手間がかかりますので、その手間を省いて滞在時間を短縮したい。あとは御高齢の方等でなかなか文字を書くのが難しいという方の手間を省きたいと、それによって滞在時間を短くすることによって混雑解消を図りたいと、このような狙いで行うものでございます。

○議長（柳沢英希） 1番、荒川義孝議員。

○1番（荒川義孝） 最後に確認ですが、先ほどの1問目、2問目の質問に併せての総合的な確認です。今回試験的な導入ということですが、本庁舎といきいき広場との連携強化を考えた中で、申請書作成システムは、基本的には本庁舎に1台設置と推測されますが、いきいき広場にも設置し、テレビ電話とセットでの確認により、申請書の画面確認や電送といったやり取りの可能性は広がり、電子申請にもつながっていくと考えますが、よろしくお願いいたします。

○議長（柳沢英希） ICT推進グループ。

○ICT推進G（山下浩二） お答えいたします。

まさに、議員御指摘のとおりの方角性を考えておまして、そもそもこのシステム自体は移動が可能であるものでございまして、またグループによって、窓口の混雑時期は異なりますので、混雑する時期に同システムを活用し、状況によって配備台数を検討してまいりたいと考えており

ますので、よろしく願いいたします。

○議長（柳沢英希） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 先ほど荒川議員のほうから、本庁といきいきの相互利用ができるのかどうかというところについて、ちょっと御答弁がなかったようなので、その部分の確認をまずしたいと思います。

それから、例えば多分これ3月、4月の転入、転出の時期に特に利用が多いのかなということが予測されるんですけども、そういった場合に、例えばまず窓口グループに行きました。そこで学校のお子さんがあるから、学校の手続きも必要ですとなったときに、多分いきいき広場さんとつながっていただけたらとか、そういうイメージをしているんですけども、そういった場合に例えばいきいき広場さんのほうでは、その担当者がお客さん対応していた場合というのは、順番的には多分こちらは受付順でいろいろお客さんの対応をされていくと思うんですけども、このシステム、パソコンモニターによって入った場合の受付の順序というか、どういう形でやっていられるのかなというのは、市民の方から苦情がないような形でやってほしいと思うので、そのあたりの考え方と、あとこの事業積算内容の部分で来年度以降、かかってくる費用についてお知らせいただきたいと思います。

それから、先ほどからちょっと手間を省くようなお話があって、それが費用対効果の一つかなと思うんですけども、窓口申請書作成支援システムはそういった費用対効果があると思うんですけども、PCモニターですね、こちらを使ったところの費用対効果はどのようにお考えなのかということもお聞かせいただきたいと思います。

あと、先ほどマイナンバーのお話でしたが、現在、来庁者削減プロジェクト、こちらの部分について今までプロジェクトとして取り組んできた部分、それから今後の予定されている部分が分かりましたら、お願いいたします。取りあえずそこまでお願いします。

○議長（柳沢英希） ICT推進グループ。

○ICT推進G（山下浩二） まず、失礼しました。1点目の相互利用の部分でございますが、実はこれアナログのやり方を想定しておりまして、基本的にはそれぞれの窓口と同じように申請書を用意すれば、それぞれ手続はできるのではないかとということでございます。

あと、受付順序のお話でございますが、これ実は電話と同じように呼出し音が鳴りますので、現実でもあるんですが、窓口で対応しているときでも電話が鳴ると、どうしても電話を取るという形になりますので、電話が1つ増えるということになりますので、順番としては電話を優先的に取ることになろうかと考えております。

あと、今年度負担につきましては、主要新規事業の事業内容の積算内容でございますが、今回システム系のものを導入しますと、どうしても保守業務というものが発生してくることになりま

すので、今年度につきましては14万6,000円という形になりますが、次年度以降もこれぐらいの金額が保守という形で発生してまいります。

あとP Cモニターのほうの費用対効果ということでございますが、やはり我々のほうとしては、滞在時間を短縮したいということがございますので、どうしてもお客様の中には対面で御相談をしたいという方がありますが、そういった方を排除するということは決してなく、どうしても手続をすぐ済ませてお帰りになりたいという方の対応をするために導入したいと考えておまして、費用対効果としてはそういった滞在時間の短縮というものになっております。

あと、プロジェクトのほうのそのほかの取組ということ、主なものがございますが、今回はその中で先ほども申し上げましたように、一番大きなのは電子申請の拡大というものを掲げてございます。この電子申請の拡大につきましても、大きく2つございまして、国のD X計画に基づいたマイナンバーカードを用いた電子申請、あわせてマイナンバーカードをお持ちでない方でも電子申請が可能にできるような環境整備、こういったものを取り組んでおります。そのほか例えば電子マネーの拡大というものに取り組んでいるところでございます。

以上でございます。よろしくお願いいいたします。

○議長（柳沢英希） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） すみません。そうするとちょっと確認なんですけれども、例えばいきいき広場に行った場合にいきいき広場で御相談とか手続をしました。でもそういえばこういうことも手続が必要でしたねとか、こういう書類が欲しいんですけれどもなった場合に、いきいきから本庁につなげるということも可能ということなのかという確認が1つと。

それから、主要成果のほうの5ページのほうの住民税非課税世帯の臨時特別給付金事業、こちらのほうどのように周知されていくかというところでお答えいただいているんですけれども、せっかく公式L I N Eのほうが開設されたんですけれども、こちらのほうではされていないのかどうかというところ教えてください。

○議長（柳沢英希） I C T推進グループ。

○I C T推進G（山下浩二） 失礼いたしました。いきいき広場から本庁へ連絡ができるのかというお問合せでございますが、これは当然可能でございます。

○議長（柳沢英希） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（加藤 直） 公式L I N Eのほうの関係は、その都度対応していくように考えております。

○議長（柳沢英希） 16番議員に申し上げます。議題の範囲内で質問をお願いいたします。

ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） ほかに質疑もないようですので、これにて質疑を終結いたします。
これより討論に入ります。
反対討論を求めます。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） 賛成討論を求めます。

〔発言する者なし〕

○議長（柳沢英希） 討論もないようですので、これにて討論を終結いたします。
これより採決いたします。

議案第1号 令和3年度高浜市一般会計補正予算（第10回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（柳沢英希） 起立全員であります。よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

○議長（柳沢英希） 以上をもって、本臨時会に付議されました案件全部を議了いたしました。
市長挨拶。
市長。

〔市長 吉岡初浩 登壇〕

○市長（吉岡初浩） 大変お疲れさまでございました。

令和4年第1回高浜市議会臨時会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。
私どものほうから提案させていただきました議案1件につきまして、慎重に御審議をいただいた上、原案どおり御可決を賜りまして誠にありがとうございました。審議の過程でいただきました御意見、御要望に関しましては今後の執行の参考とさせていただきます。

議員の皆様には一層の御指導、御鞭撻を賜りますことをお願い申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

〔市長 吉岡初浩 降壇〕

○議長（柳沢英希） これをもって令和4年第1回高浜市議会臨時会を閉会いたします。

本日は、議員各位の慎重なる御審議をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

午前10時25分閉会
